

8-4-29 政策・事業評価専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

当専門委員会は、主に道路系・河川系の計画系業務に関連する政策や事業評価に関する内容を取扱うものとし、セミナー等の企画・開催、各種政策の最新動向把握や事業評価制度の検討、政策が展開されている現地の踏査・研究を通じ、協会員や委員の実務的技術習得と技術水準の向上を目的としている。

(2) 専門委員会の開催

- a) 専門委員会の開催回数:5回(WGは適宜開催)
- b) 3つのWGによる活動
- c) セミナー1回と委員会内勉強会1回を実施

(3) セミナーWG活動

河川、道路分野を中心に事業評価や政策評価に関わる最新動向を収集・整理し本委員会の場での情報提供とセミナーの企画・開催を行った。

a) 令和4年セミナーテーマ:「リアルタイム人流ビッグデータ分析の最前線(講師2名の講演)」

① リアルタイム人流ビッグデータの処理・分析・可視化と人流予測(60分)

・東京大学空間情報科学研究センター 柴崎 亮介 教授

② IoT・AIを用いた交通流動調査(60分)

・法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科 今井 龍一 教授

b) 開催日時:12月5日(月)13:30~16:40

c) 会場:WEB開催(講師と事務局は外部会議室)

d) 参加者数:191名(事前申し込みは237名)

また、本セミナーの動画については、編集後にCPD推進専門委員会へ提出した。

(4) 政策評価WG活動

国交省等で積極的な施策展開がなされている「コンパクトシティ」や「流域治水」に着目し、国内における取り組みや導入事例などをとりまとめて委員会内で共有すると共に、10月に現地視察(富山市内と宇奈月ダム)を予定していたが、諸事情により来年度に見送った。

(5) 事業評価制度WG活動

今年度は下記5項目に関する動向把握調査を中心に各地整の事業評価監視委員会の開催動向、整備効果の内容に関する結果をとりまとめた。

- a) 事業評価手法に関する調査
- b) 事業評価に関する勉強会の企画検討
- c) 事業評価制度に関する動向把握
- d) 整備効果に関わる動向調査
- e) DXに関する先進事例調査

また、12月に講師を招き下記概要で委員会内での勉強会を実施した。

① 勉強会テーマ:「QOLに基づく道路事業評価手法の開発とSDGsへの貢献評価」

② 講師:大日本コンサルタント(株) 森田 紘圭氏

③ 開催日時:12月16日(金)14:30~16:30

④ 開催場所:建コン協本部 第一会議室

2. 次年度の活動について

セミナーWGは、政策・事業評価等に関する最新情報・話題等を基に、道路分野、河川・港湾分野を中心としたセミナーの企画・開催を行う。

また、それら分野に係る政策・事業評価に関する最新の話題・トピック等の情報を幅広く収集し、委員会場で共有する。

なお、来年度のセミナーについては、道路交通系をテーマでの実施を想定している。

政策評価WGでは、先進性・全国拡散性の視点から、国土交通省審議会等の動きを調査し、着目すべき施策(スマートシティやシェアリングや新たなモビリティ、グリーン社会など)を選定し、それら施策について現地視察(遠方や日帰り圏)を念頭においた詳細の情報収集・整理を実施する。なお、令和5年度の現地視察は令和4年度に見送った内容の実施を想定している。

事業評価WGでは、引き続き、事業評価制度や事業評価関連マニュアルに関する調査、全国各地整の事業評価監視委員会の動向、各種整備効果の事例収集やDXに関する事例・動向調査等を実施する。

(政策・事業評価専門委員会委員長 篠崎 毅)